

にのみやまちとしょかん 図書館だより

第68号

Twitter
やってます!
@ninomiya_lib

特集

図書館、こんな仕事をしています

カウンターでの貸出・返却がメインと思われがちな図書館の仕事。実際カウンターやフロアでの仕事は目にみえる部分の主な仕事ではありますが、図書館全体の仕事はもちろんそれだけではありません。図書館ではどのような仕事をしているか、全体のイメージをお伝えできればと思い今回の特集としました。どんな職種においてもいえることですが、^{おもて}表にみえる仕事の質を維持するためには、基礎となる仕事の積み重ねや準備が不可欠です。

以前本紙 36 号(2008年11月号)で「カウンター業務と図書館の仕事」という特集をしましたが、10 年近く経ったいま、改めて図書館の仕事についてご紹介します。



(数字は平成 27 年度図書館年報より)

※図書館は皆様に利用されることによってどんどん育っていく施設です。
もっともっとご活用ください!



11月～1月新着本 PICKUP



2016年11月～2017年1月新着分より（著編者／出版社／出版年月／請求記号）

『図書館「超」活用術 – 最高の「知的空間」で、 本物の思考力を身につける –』



（奥野宣之／朝日新聞出版／'16.3/015 ㍿）
「図書館をフル活用できれば仕事も人生ももっとうまくいく！」図書館の魅力と利用術を分かり易く解説。図書館は自分の生き方が見つかる場所。この本を読んでもっと図書館を活用してほしい。

『誰も知らない世界のことわざ』



（エラ・フランシス・サンダース／創元社／'16.10/388.8 ㍿）

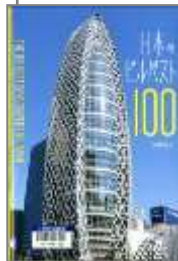
「オオカミの口の中へ」「ロバにスポンジケーキ」など世界のユニークな諺や慣用句を 51 語紹介。成り立ちや文化などが絵本のような挿絵と解説を読むと納得。知的好奇心が刺激される一冊。

『犬が来る病院 – 命に向き合う子どもたちが 教えてくれたこと –』



（大塚敦子／KADOKAWA／'16.11/493.9 ㍿）
日本で初めて小児病棟にセラピー犬訪問を受け入れた聖路加国際病院。入院中の子どもたちがより良い時間を過ごせるように、トータルケアを行う多職種のスタッフと子どもたちの物語。

『日本のビルベスト 100』



（@関西人／エクスナレッジ／'16.10/526.9 ㍿）

虎ノ門ヒルズやあべのハルカスなど高さ 100m 以上の超高層ビルの魅力を紹介。役割やデザイン、施設の成り立ちや鑑賞上のポイントなどビルを楽しむための秘訣が満載。アクセス MAP 付き。

『つくって楽しむわら工芸』



– 生活用具・飾り物・縁起物 –

（瀧本広子／農山漁村文化協会／'16.10/583.9 ㍿）
昔は、日常生活や年中行事で作られていたわら工芸品。数あるわら工芸品の中から正月飾り、一輪ざし、おひつ入れなど 16 種について、難易度別に作り方とポイントを写真でわかりやすく紹介。

『昭和十八年の冬 最後の箱根駅伝』



– 戦時下でつながれたタスキ –

（早坂隆／中央公論新社／'16.9/782.3 ㍿）

大正 9 年に誕生した箱根駅伝は、戦時下で一時中止に追い込まれた。昭和 18 年、三年ぶりに復活した大会がどのような大会だったのか…当時のランナーや関係者たちの証言から新たな真相に迫る。

<児童書>



『うらしまたろう』

（かないだえつこ絵／くもん出版／'16.4/幼 E ㍿）

昔話研究の第一人者でもある小澤俊夫氏と、版画家の金井田英津子氏が手掛ける美しい昔話シリーズの第五弾。伯耆（鳥取県）の昔話を元話とした浦島太郎、こんな結末もあるのです！

2017 年 1 月分

新着 AV リスト(寄贈 CD)



CD	タイトル	請求記号
	華麗なる大円舞曲/ショパン物語 (有森博ピアノ)	131 シ
	いのちの讃歌 (中丸三千絵ソプラノ)	155 ナ
	HELP! (ザ・ビートルズ)	240 ビ
	宮本文昭ヒーリング・ベスト (宮本文昭オーボエ)	260 ミ
	musiQ (ORANGE RANGE)	290 オ
	おもひで泥棒 (さだまさし)	290 サ

ほか 19 点

ベストオーダー

2016 年 11 月～2017 年 1 月

※この期間に予約が多かった本です

- 1 恋のゴンドラ／東野圭吾
- 2 コンビニ人間／村田沙耶香
- 3 九十歳。何がめでたい／佐藤愛子
- 4 雪煙チエイス／東野圭吾
- 5 三鬼／宮部みゆき

家族で読書を
楽しもう！

「ファミリー読書のすすめ」コーナー

図書館 1 階、こどものほんコーナー入口付近にある「ファミリー読書のすすめ」コーナーをご存じですか？ 2015 年 8 月から始めたこのコーナーでは、図書館と吉田屋書店、そして「にのみやおはなし会」と「図書館をたのしむ会・二宮」とがそれぞれ選んだ、家族で楽しめる本・子どもの本の中からおすすめの本を紹介しています。入替の頻度は年に 4 回。これまでに 20 冊以上の本を紹介しました。

リストのファイルも置いてありますので、本選びのご参考にぜひどうぞ！

展示期間 2017年1/5 ~ 3/30



二宮町出身の異彩の洋画家、二見利節の展示第6弾です。
今回初公開となるパステル調の二見作品を、ふたみ記念館から借用し展示しています。現在記念館で展示されているルーフィング※作品とはまた違った魅力をお楽しみください。また、井上三綱、重田哲三といった二見と関連のあった人達の資料も展示しています。

※ 屋根葺き用のタールをしみこませた防水紙。建築資材。

二宮ゆかりの人物

じぬし ていすけ 地主 悌助 [洋画家]

地主悌助氏を有名な画家というのは当らないかもしれない。が、一部の人々には非常に愛されている、あの石や紙ばかり描く画家といったら、思い出す人もあるだろう。(中略) その後私は、地主さんを知ることになり、ときどきは二宮のお宅へうかがうようになった。

— 白洲正子著『ほとけさま』(「地主さんの絵」)より —

地主悌助(1889~1975)は、明治22年山形県鶴岡市で生まれました。山形県荘内中学中退後、検定試験で小学校教員になり、大正元年画家を志して上京。文展で坂本繁二郎の「うすれ日」を見て感動し、翌年坂本繁二郎を訪ね師事します。大正3年、文部省中等教員検定試験図画科に合格し各地の師範学校の教諭を経て、大正14年帰郷し山形県立鶴岡中学(現鶴岡南高等学校)の図画工作の教諭となり、昭和27年の退職まで勤務しました。その傍ら地元の美術団体白蠶社(はくおろしや)の会長となり地域の美術振興に尽力しました。鶴岡中学時代の教え子には丸谷オ一もいて、『思考のレッスン』の中で、「偉い先生で、人格者で鶴岡の土族文化を継承している先生」と書いています。

そんな地主が絵画制作に専念するために二宮町山西に居を移したのは、昭和29年66歳の時でした。昭和31年日本橋丸善で最初の個展を開催した折に、評論家小林秀雄に認められ注目されるようになりました。小林秀雄は地主の絵を高く評価しており、白洲正子が地主を知るきっかけにもなったようです。地主は写生写実に長けており、石、紙、瓦などの静物を描き独自の画風を確立、団体には属さず個展で作品を発表し続けました。紙の絵の個展を開いた時には、絵に紙がかかっていると勘違いして、未だかと帰ってしまう人もいたというエピソードも残っています。

昭和38年の二宮町文化団体連盟の文化祭の時には、洋画家二見利節の骨折りで、公民館2階に地主の絵を展示することができ好評を博したそうです。二見の師であった井上三綱は、坂本繁二郎に師事していたので、地主とは兄弟弟子と推測され二見とも交流があったと思われます。

昭和46年、財団法人新潮文芸振興会主催の第3回日本芸術大賞※を日本画の石本正とダブル受賞します。四人の審査員の中で地主を推す小林秀雄と石本を推す川端康成。双方が譲らず膠着状態の中、最終的にダブル受賞という形になりました。そのときのいきさつを、「芸術新潮」の編集長だった山川みどり(山川方夫の妻)が、平成19年2月号の「芸術新潮」に「一体の石地蔵」というタイトルで書いています。

ただひたすら静物のみを見つめ、描き続けた地主悌助は昭和50年11月26日、老衰のため二宮の自宅で亡くなりました。

「武相荘」として公開されている旧白洲邸には、以前地主の「石」の絵が掛けられていました。白洲正子は、「ついさっきまで波に洗われていた自然の石」と記していますが、その石は二宮の海岸で拾ってきた石なのかもしれません。

※ 第32回まで開催。現在は休止。

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

◆参考資料 「月刊美術」(1976年2月号/サン・アート/NYジズ)、「芸術新潮」(1971年4月号/新潮社/NYジズ)、「芸術新潮」(2007年2月号/新潮社/NY 74)、『ほとけさま』(白洲正子/ワイアンドエフ/2000/914 55)、『思考のレッスン』(丸谷オ一/文芸春秋/1999/914 74)、「文化にのみや 文団連20周年記念号」(1998年9月)、「日本美術年鑑 昭和51年版」(大蔵省印刷局)ほか

お知らせ・お願い

★住所や氏名、電話番号の変更がありましたらお知らせください

住所変更の場合は新規に登録された時と同様に住所・氏名が確認できるものが必要です。変更後の保険証・免許証・自分宛の郵便物等をお持ちください。

★新しい雑誌の受入お知らせ

「週刊金曜日」・・・2016年11月18日号～受入。
「俳句四季」・・・月刊。2016年4月号～受入。

図書館で健康チェック！

月 日：3月14日（火）
時 間：午前10：00～12：00
場 所：ラディアン 展示ギャラリー
対 象：どなたでも
内 容：骨密度および血管年齢の測定と結果説明／健康医療関連図書の紹介／保健師・管理栄養士による健康相談 など（随時）
主 催：二宮町図書館・二宮町健康づくり課
申 込：特になし（当日会場にて随時受付）



「利用者の声」ポストを

ご存知ですか？

図書館入口に「利用者の声」ポストがあるのをご存知ですか？ このポストにいただいていた図書館へのご意見は、2 か月ごとに図書館からの回答をつけて、ポスト横に置いている「利用者の声」ファイルに綴っています。



図書館運営に関する利用者の皆さんのご意見をお寄せください！

にんぎょうげき大会

月 日：3月19日（日）
時 間：午前10：30～11：30
場 所：ラディアン ミーティングルーム2
演 目：「てんぐのうちわ」「ぐりとぐら」
出 演：てぶくろ座、大きなたまご
申 込：不要（直接会場にお越しください）
入場無料



行事カレンダー

※詳しくはお問い合わせください

- ちいちゃいおはなし会
- おおきいおはなし会—小学生からおはなし会とありがみあそび
- わらべうたであそぼう！
- 図書館託児サービス
- 大人が楽しむおはなし会
- 図書リサイクル提供日
- 雑誌リサイクル提供日

休館日

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

ご協力ありがとうございます！

図書館基金 ご報告

12月末までの累計
8,589,369 円

《月別合計》
（ふるさと納税分含）

10月 43,892 円
11月 1,023,910 円
12月 134,663 円



ひとつだけ ～編集後記にかえて

その業界では常識でも、一般には通じない言葉がある。図書館用語で言う「配架」（請求記号に従い本を棚に並べること）や「別置」（本来の棚ではなく別の棚に置くこと）などはそのひとつ。またAudio/Visualの頭文字であるAVという言葉は、いつの間にか別の意味の方が世の中に浸透してしまい、使うとゴッソとされることも……どうしたもんじゃろう。

編集・発行 二宮町図書館

住所 〒259-0123

二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913 FAX 0463-72-6914

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

公式 Twitter アカウント @ninomiya_lib

図書館だよりCD版もあります。お問い合わせください！

次号は5月
発行予定

